

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2021年6月)

【内政】

- 2日、政府は閣議において、12県の県知事を任命した。アラン・オルンラ前通信・郵便大臣兼政府報道官がリトラル県知事に任命された。(3日、La Nation 紙)

【外政】

- 19日、タロン大統領はガーナのアクラで開催されたECOWAS首脳会談に出席し、Covid-19による経済への影響、ECOWAS共通通貨、マリ情勢等の問題につき議論した。(21日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- 8日、津川貴久駐ベナン日本国大使、アラサン・セイドゥ内務・治安大臣、ワネIOM在ベナン代表の出席の下、令和2年度補正予算案件「ベナン北西部における治安強化」の事業開始式典が開催された。(9日、Le Matin Libre 紙)
- 22日、令和2年度補正予算案件「近隣諸国からの暴力的過激思想流入リスクに対する強靱性構築」の事業開始式を開催し、津川貴久駐ベナン日本国大使、ジャナブ在ベナンUNICEF常駐代表が出席した。(28日、L'Économiste 紙)

【経済】

- 15日、平成29年度対ベナン無償資金協力「アトランティック県小学校建設計画」の引渡式が開催され、津川貴久駐ベナン日本国大使、青木利通JICAベナン支所長、カリム・幼少・初等教育大臣らが出席した。(17日、L'Économiste 紙)
- 25日、津川貴久駐ベナン日本国大使、アスマン産業・商業大臣の出席の下、令和元年度対ベナン食糧援助により調達された米の引渡式が開催された。(28日、L'Économiste 紙)
- 25日、津川貴久駐ベナン日本国大使、ウンパティン保健大臣の出席の下、令和2年度無償資金協力「経済社会開発計画」により調達された医療機材の引渡式が開催された。(29日、L'Économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙およびLe Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 1日、5月23日に就任したタラタ副大統領の職務引継式が実施された。(2日、La Nation 紙)
- 1日、タラタ副大統領(前国民議会第一副議長)の就任に伴い、国民議会において、ロベール・ジアン議員が新第一副議長に任命された。(1日、L'Économiste 紙)

- ・ 2日、政府は閣議において、12県の県知事を任命した。アラン・オルンラ前通信・郵便大臣兼政府報道官がリトラル県知事に任命された。(3日、La Nation 紙)
- ・ 17日、3月5日に「テロリズム行為に対する資金供与」の嫌疑で逮捕され拘禁中のレキヤ・マドゥグ被告に対する審問が非公開で行われ、同被告は無罪を主張し、罪状否定した。(18日、Le Matinal 紙)
- ・ 29日、4月1日に開会した2021年度国民議会通常会期が閉会した。(30日、L'Événement Précis 紙)

【外政】

- ・ 9日、ニヨンジマ・ベナン常駐国連調整官は、グテレス国連事務総長によるタロン大統領再選に係る祝辞をアベノンシ外務・協力大臣に手交した。(10日、La Nation 紙)
- ・ 10日、トロスター駐ベナン・ドイツ大使は、4年にわたる任期を終えるにあたりタロン大統領を離任表敬し、両国間関係について振り返った。(11日、L'Économiste 紙)
- ・ 11日、在ベナン・ロシア大使館は、コトヌ市においてナショナル・デーを祝う式典を開催し、ベナン政府関係者及び外交団が参加した。(16日、L'Économiste 紙)
- ・ 19日、タロン大統領はガーナのアクラで開催されたECOWAS首脳会談に出席し、Covid-19の経済への影響、ECOWAS共通通貨、マリ情勢等の問題につき議論した。(21日、La Nation 紙)
- ・ 29日、ベルギーとベナンは、ベルギー大使、アベノンシ外務・協力大臣出席の下、定例協議会を開催し、事業の進捗評価を行った。(30日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 8日、津川貴久駐ベナン日本国大使、アラサン・セイドゥ内務・治安大臣、ワネIOM在ベナン代表の出席の下、令和2年度補正予算案件「ベナン北西部における治安強化」の事業開始式典が開催された。(9日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 22日、令和2年度補正予算案件「近隣諸国からの暴力的過激思想流入リスクに対する強靱性構築」の事業開始式を開催し、津川貴久駐ベナン日本国大使、ジャンブ在ベナンUNICEF常駐代表が出席した。(28日、L'Économiste 紙)
- ・ 29日、ベナン政府は新型コロナウイルスのワクチン接種のため、3,000万米ドルの追加支援を世界銀行グループの国際開発協会(IDA)から受け取ることが決まった。(7月2日、L'Économiste 紙)

【経済】

- ・ 14日、世界銀行グループの国際開発協会(IDA)は、ベナン政府に対し、電力アクセス向上のため2億米ドルの資金拠出することを決定した。これにより15,000世帯と中小企業1,000社の電力アクセスが可能になると見込まれている。(16日、L'Économiste 紙)

- ・ 15日、平成29年度対ベナン無償資金協力「アトランティック県小学校建設計画」の引渡式が開催され、津川貴久駐ベナン日本国大使、青木利通JICAベナン支所長、カリム・幼少・初等教育大臣らが出席した。(17日、L'Économiste 紙)
- ・ 15～16日、在ベナン・ドイツ大使館とベナン政府は、政府間協議を開催し、ドイツはベナン政府行動計画2021－2026を支援すべく約514億フランCFA(約103億円)の援助を行うことを約束した。(18日、L'Économiste 紙)
- ・ 国立経済統計・分析研究所(INSAE)が公表した最新のデータによれば、2021年第1四半期のベナンの輸出額が、2020年第4四半期より45.4%増加し、1,399億フランCFA(約280億円)に達した。(28日、L'Économiste 紙)
- ・ 25日、津川貴久駐ベナン日本国大使、アスマン産業・商業大臣の出席の下、令和元年度対ベナン食糧援助により調達された米の引渡式が開催された。(28日、L'Économiste 紙)
- ・ 25日、津川貴久駐ベナン日本国大使、ウンパティン保健大臣の出席の下、令和2年度無償資金協力「経済社会開発計画」により調達された医療機材の引渡式が開催された。(29日、L'Économiste 紙)
- ・ 28日、ファーウェイ ICTアカデミーは、数百人のベナン人学生を対象にデジタル分野のeラーニングを開始し、事業開始式にペン駐ベナン中国大使が出席した。(29日、La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 3日、ヴィジー駐ベナン仏大使とワダニ経済・財務大臣は、フランスの支援による文化博物館建設(230億フランCFA、約46億円)に係る融資合意書の署名を行った。(4日、La Nation 紙)
- ・ 11日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、ABEイニシアティブ及び AgriNET により日本に留学する2名の学生の壮行会を開催した。(16日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 14～16日に実施される中等教育修了資格試験(BEPC)の受験者数が145,934名(前年比でマイナス約3,500名)にのぼることが公表された。(4日、La Nation 紙)
- ・ 7日、ベナン全土で初等教育修了資格試験(CEP)が始まった。登録者数は242,066名(うち女子児童113,540名)。30日、幼少・初等教育省は194,341名が合格したことを公表した。(合格率82.67%)(4日、7月1日、La Nation 紙)
- ・ 15日、ペン駐ベナン中国大使は、7月に予定されている中国共産党結党100周年を前に、テレビ出演し、同党の歩みについて語った。(16日、L'Économiste 紙)
- ・ 21日、高等学校修了資格試験(バカロレア)がベナン全土で始まった。受験者数は82,938名(うち女子生徒31,931名)である。(22日、La Nation 紙)